[M020]

IP アドレス自動取得設定マニュアル【Windows】

対象者:通学生、教員、職員

目的: 有線 LAN 接続申請をした PC にて、IP アドレスを自動で取得できるよう設定する。

目次

1	・イーサネットのプロパティ画面にて設定を行う	2
	<mark>【①】学内有線 LAN 接続申請時に、固定 IP を希望されなかった場合</mark>	4
	【②】学内有線 LAN 接続申請時に、固定 IP を希望された場合	5

1. イーサネットのプロパティ画面にて設定を行う

(1) デスクトップ画面のタスクバーにある検索ボックスにて「ネットワーク接続の表示」と入力し検索します。



(2)「最も一致する検索結果」欄に「**ネットワーク接続の表示(コントロールパネル)**」と表示されるので 「**開く**」をクリックします。

Q、ネットワーク接続の表示	
< זער דעגביל עלק אינגבא ליד לאין ליד לאין אינגבאין אינגבאין אינגבאין אינגבאין אינגבאין אינגבאין אינגע אינגע אינ	設定 人 フォルダー : ▶ 明星大学 R …
最も一致する検索結果	
スクールとWebを検索	ネットワーク接続の表示
	ער ער ער ער איז אין איז אין איז
	[2] 開<

- (3) 有線 LAN の接続の場合、「イーサネット(もしくはローカルエリア接続)」を右クリックして、 「プロパティ」をクリックします。
 - ※[ユーザアカウント制御]が表示された場合には、[続行]をクリックしてください。



(4)「インターネット プロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」(チェックが入っていない場合はチェックを 入れてください。)を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。

♀ ♀ イーサネットのプロパティ	×
ネットワーク 共有	
接続の方法:	
Intel(R) Ethernet Connection (10) I219-V	
構成(<u>C</u>) この接続は次の項目を使用します(<u>O</u>):)
 ✓ ■ Microsoft ネットワーク用クライアント ✓ ■ Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンター共有 ✓ ■ QoS パケット スケジューラ ✓ ■ FortiClient NDIS 6.3 Packet Filter Driver ✓ ■ インターネット プロトコル パージョン 4 (TCP/IPv4) 	
 Microsoft Network Adapter Multiplexor Protocol Microsoft LLDP プロトコルドライバー 	
インストール(<u>N</u>) 削除(<u>U</u>) プロパティ(<u>R</u>)	
説明 伝送制御プロトコル/インターネット プロトコル。相互接続されたさまざまな ネットワーク間の通信を提供する、既定のワイド エリア ネットワーク プロトコ ルです。	
OK キャンセル	,

(5) 下記、①か②のどちらか当てはまる手順へお進みください。

【①】学内有線 LAN 接続申請時に、固定 IP を希望されなかった場合

[全般] タブにある「IP アドレスを自動的に取得する」と「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」 に<u>チェックを入れ</u>、「詳細設定」ボタンをクリックします。

インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ X					
全般 代替の構成					
ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせて ください。 ● IP アドレスを自動的に取得する(<u>O</u>)					
IP アドレス(D:					
サプネット マスク(<u>U</u>):					
デフォルト ゲートウェイ(<u>D</u>):					
● DNS サーバーのアドレスを自動的に取得	する(<u>B</u>)				
──○ 次の DNS サーバーのアドレスを使う(<u>E</u>):					
優先 DNS サーバー(<u>P</u>):					
代替 DNS サーバー(<u>A</u>):					
○ 終了時に設定を検証する(<u>し</u>)	詳細設定(<u>V</u>)				
	OK キャンセル				

[M020]

【②】学内有線 LAN 接続申請時に、固定 IP を希望された場合

[全般] タブにある「次のアドレスを使う」にチェックを入れると、

「次のアドレスを使う」項目欄と「次の DNS サーバーのアドレスを使う」項目欄がアクティブになります。 情報科学研究センター発行のホスト登録通知書に記載されている情報をそれぞれ該当する項目に入力し、 「詳細設定」ボタンをクリックします。

インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)の	Dプロパティ	×
全般		
ネットワークでこの機能がサポートされている場 きます。サポートされていない場合は、ネットワー ください。	合は、IP 設定を自動的に取得すること -ク管理者に適切な IP 設定を問い合	とがで わせて
 IP アドレスを自動的に取得する(<u>O</u>) 		_
〇 次の IP アドレスを使う(S):		
IP アドレス(<u>I</u>):		
サブネット マスク(<u>U</u>):		
デフォルト ゲートウェイ(<u>D</u>):	· · ·	
○ DNS サーバーのアドレスを自動的に取得	する(<u>B</u>)	
〇次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):		
優先 DNS サーバー(<u>P</u>):		
代替 DNS サーバー(<u>A</u>):	· · ·	
○ 終了時に設定を検証する(<u>L</u>)	詳細設定()	<u>/</u>]
	OK ++	ンセル

(6) [DNS] タブを選択し、画面下部にある「この接続のアドレスを DNS に登録する」のチェックを<u>外し</u>、「OK」ボタンをクリックします。

TCP/IP 詳細設定	×
IP 設定 DNS WINS	
DNS サーバー アドレス (使用順)(<u>N</u>):	
	t
	3
)
非修飾名の解決に使用するオプションを選択してください。以下の設定はT	CP/IP が
(使用 可能になっている接続すべてに適用されます: ○ プライマリおよび接続専用の DNS サフィックスを追加する(P)	
✓ ブライマリ DNS サフィックスの親サフィックスを追加する(X)	
○ 以下の DNS サフィックスを順に追加する(<u>H</u>):	
	t
	F
追加(<u>D</u>) 福集(<u>T</u>) 削除(<u>M</u>)
この接続の DNS サフィックス(<u>S</u>):	
□ この接続のアドレスを DNS に登録する(R)	_
 この接続の DNS サフィックスを DNS 登録に使う(U) 	
ОК	キャンセル

以上で、設定は完了です。